

奈良県生駒市教育委員会

(概要)

- ・ 設置校数：小学校 12校 中学校 8校
- ・ 太陽光発電設備設置校：俵口小学校・生駒中学校
- ・ エコスクールへの取組時期：2003年4月～

生駒市では校舎の耐震化を進めるとともに、地球温暖化防止のための施策についても積極的に取り組んでいるところであり、地震補強事業に合わせて、可能な限り太陽光発電設備などエコ改修を進めている。

(エコスクール化の内容)

市内小学校では高学年を中心に、太陽電池パネルを使った理科の実験や地球環境、工業エネルギーなどをテーマにした学習を、また、中学校では理科や総合的な学習の時間の授業において、日射量と発電の関係や地球温暖化の原因でもある二酸化炭素削減効果などの学習を進めている。

そこで、太陽光発電設備は、生きた環境教育の教材として活用できる。

また、災害発生時には電力供給が遮断された場合も避難場所としての電力確保の役割を十分発揮できる。



俵口小学校太陽電池パネル



生きた教材の一つとして太陽電池モジュールを見学できるように、屋上に手すりを設置し、校舎内にはデータ管理用パソコン、発電量・消費電力量等が表示できるパネルを設置することにより、目に見えない電気を数字や絵を見て具体的に児童が学べる教育設備を整備した。

俵口小学校

平成13年度から公立学校施設整備費国庫補助金をいただき、地震補強事業及び大規模改修事業を実施し、平成14年度事業として中館の改修に併せて10Kwの太陽光発電設備を設置した。

生駒中学校

耐震診断の結果、改築が必要と判定され、平成19年度、平成20年度の2ヵ年事業として改築工事を行った。その改築時に10Kwを、翌21年度に10Kwを追加設置し、20Kwの太陽光発電設備を備えた。



生駒中学校改築工事のようす

(エコスクール化の効果)

環境問題、環境教育に積極的に取り組むことにより、市内小中学校及び幼稚園では、エネルギー使用料を1%削減する「省エネ運動」を継続的に実施することができた。

また、子どもたちが環境問題に関心を持ち、自然を大切にする気持ちを養うことができた。



(地域等の環境・エネルギー教育、意識向上)

俵口小学校では、太陽光パネルが設置された屋上で植物を栽培し、太陽光発電システムの日照時間のデータを活用して、太陽の光とでんぷんができる関係を学習した。

また、生駒中学校の改築校舎が完成した記念式典では学校見学会を実施し、太陽光発電設備に対しても多くの方に興味を持っていただいた。



光合成と日照の学習



生駒中学校記念式典での学校見学会のようす